

記載例

作成者及び作成年月日を記載してください。その後、一覧表のやり取りの過程で、加筆又は修正等をした場合は、その履歴(年月日及び加筆又は修正者)を記載してください。

事件番号、係名及び当事者名を記載してください。

平成〇〇年(ワ)第〇〇〇号 民事第22部〇係  
原告〇〇〇〇/被告〇〇〇〇  
平成29年〇月〇日原告作成  
平成29年〇月〇日被告記入  
平成29年〇月〇日原告修正

追加変更工事一覧表

適宜、原告及び被告の表示を入れ替えるなどとして使用してください。

番号	項目	施工者側(原告)						施主側(被告)					
		本工事の内容	証拠	追加変更工事の内容	追加変更理由	証拠	A本工事金額	B変更後金額	差引(B-A)	本工事の認否	追加変更工事の認否	主張金額	証拠
1	1階洋室東側窓	〇〇製〇〇〇の引違い戸	甲1の〇頁〇行目	〇〇製〇〇〇の引違い戸	平成〇〇年〇月〇日定例会議における施主からの指示	甲2の〇頁〇行目	¥100,000	¥60,000	¥-40,000	認める。	否認する。変更は承認しておらず、別途瑕疵一覧表〇〇のとおり、修補に代わる損害賠償を請求する。	¥0	
2	1階浴室	ホーローの浴槽の設置	甲1の〇頁〇行目	ステンレス製浴槽の設置	平成〇〇年〇月〇日現場における施主からの指示	甲3の〇頁〇行目	¥200,000	¥500,000	¥300,000	認める。	ステンレス製の浴槽に変更されたことは認めるが、金額は否認する。金額の合意は高くすぎる。	¥200,000	乙1の〇頁〇行目
3	1階トイレ	和式トイレの設置	甲1の〇頁〇行目	ウォッシュレット付の洋式トイレの設置	平成〇〇年〇月〇日ファックスによる施主からの指示	甲4の〇頁〇行目	¥200,000	¥300,000	¥100,000	否認する。和式、洋式に限定されず、トイレ工事一式として金額が定められた。	ウオッシュレット付洋式トイレが設置されたことは認めるが、追加変更であることは否認する。本工事の範囲内である。	¥0	甲1の〇頁〇行目、乙1の〇頁〇行目
4	2階和室	なし		収納棚の新設	平成〇〇年〇月〇日施主から電子メールで指示	甲5の〇頁〇行目	¥0	¥150,000	¥150,000		追加の指示は認めるが、有償であることは否認する。〇月〇日時点で予定よりも遅れていたため、原告担当者〇〇が無償で設置することを提案した工事である。	¥0	乙2の〇頁〇行目
5	屋根工事	ルーフィング	甲1の〇頁〇行目	日本瓦仕上げ	平成〇〇年〇月〇日電話による施主からの指示	甲6の〇頁〇行目	¥300,000	¥700,000	¥400,000	否認する。当初から日本瓦仕上げであった。	否認する。本工事自体、日本瓦仕上げであった。	¥0	甲1の〇頁〇行目、乙1の〇頁〇行目
6	浴室乾燥機	浴室乾燥機取り付け	甲1の〇頁〇行目	浴室乾燥機の取り付け中止	平成〇〇年〇月〇日施主から電子メールで指示		¥170,000	¥0	¥-170,000	認める。	認める。	¥-170,000	
							¥970,000	¥1,710,000	¥740,000			¥30,000	

一覧表のやり取りの過程で、加筆又は修正等をした場合は、アンダーラインを付し、又は文字に色を付けること等により、加筆又は修正等した箇所が分かるようにしてください。